

# 平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	03040101	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	村民大学事業	担当部署名	教育課
		作成責任者職氏名	課長 中野光二
		内線	650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	03教育・歴史・伝統	04生涯学習の充実	01生涯学習の推進
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (H24年度～H26年度)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>村民や村外の人に生涯学習の機会を拡大するとともに交流人口の増加をめざす。</p> <p>②内容</p> <p>生涯学習の機会を拡大するため村民大学(講座)を開設する。</p>	<p>村民及び村外</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>上記目的の達成</p>	<p>複数年の継続を考えている中で、受講者に飽きがこないよう開講講座を検討する必要がある。</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	300	161	161	170	320			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財	163	87	54	125	183		
一般財源	137	74	107	45	137			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,178	1,178	1,178			
総コスト費(千円)(A+C)	1,409	1,339	1,339	1,348	1,498			
人口あたりコスト(円)	233	221	221	222	247			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	村民大学参加者数	人	225	140	62%	300	450
②	目標指標	子ども向け講座参加者数	人	40	40	100%	25	30
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 162% / 2 = 81% (A)

(1/2)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	第4次総合計画に記載されている生涯学習の機会の拡充、交流人口の増加に関するものであるため
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	新規の参加者が年々増加傾向にある
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	会場は担当課が管理するくすのきホールであり、スムーズに対応できている
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	参加者に資料代として300円を徴収している

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14	/16	88%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
81%	88%	84%	b
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	生涯学習の機会の提供のため引き続き実施する。実施にあたってはアンケート調査等を実施するなど集客につながる講座の開講に努めていく。

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
生涯学習の機会の提供のため、引き続き実施する必要があると考える。また、集客につながる講座の実施が必要であると考え。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止